

学校概要

創立 46 周年	学校長 樋渡 典子	副校長 稲川 英徳	学期 2 学期制	児童・生徒数 598 人
学級数 一般級: 18 個別支援級: 2			主な関係校: いずみ野中学校 岡津中学校	

学校教育目標

「えがお なかよし チャレンジ」
 ○自分のよさや可能性を伸ばしていこうとする子を育てます。 [知・体]
 ○身近な人々や自然とのふれあいを大事にしていこうとする子を育てます。 [徳・公]
 ○自分の意思で判断し、よりよく解決していこうとする子を育てます。 [開]

学校の特色

- 閑静な住宅地に位置し、緑も多く落ち着いた環境を保っている。学区には平成26年度発足の「新橋市民の森」もある。
- 素直で明るい子どもが多く、あいさつを進んでする子どもも多い。
- PTA、保護者、地域とのつながりが強く、とても協力的である。
- 与えられた課題には積極的に取り組むが、自ら新しいものへ挑戦したり、その場に適した判断を自分だけの力でしたりすることに課題が残る。
- 急増する若手教員の教師力を高めることが必要である。

学校経営中期取組目標

- 学校教育目標を実現するために、全教職員が連携して活力と魅力にあふれた学校づくりを目指します。
- ・一人ひとりの子どもが、学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、学力向上を図ります。
- ・身近な人々や地域の自然との触れ合いを通して、豊かな心を育みます。
- ・子どもたちが自分らしさを発揮し、自分の意思で責任をもって行動できる実践力の育成に努めます。

小中一貫教育の取組

いずみ野中学校	ブロック	いずみ野中学校 新橋小学校 いずみ野小学校 阿久和小学校
9年間で育てる子ども像	○学びの目標の実現に向かって努力できる子ども ○社会性を持ち、自他を大切に、関わりがもてる子ども ○自分の考えをしっかりともち、豊かなコミュニケーション力をもつ子ども	
自校の具体的取組	・教職員の共通理解を図り、課題を共有して、小中学校9年間を見通した一貫カリキュラムの質を高める。 ・部活体験や中学校の授業体験を通して、子どもたちが安心して中学校に進学できるようにする。	

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	各教科等において言語活動の充実を図り、学習過程を工夫して、思考力・判断力・表現力を育み、自主的・自律的に学習に取り組む姿勢を育てる。	①重点研究を中心に表現活動の充実を柱とした授業改善を図る。②一斉テストの実施やユリノキ学習発表会など学習意欲を高める場や機会をつくる。③学校司書、司書教諭、図書委員会の活動により、学校図書館の利用促進を図り、読書活動を充実させる。
豊かな心	物事の善悪を正しく判断するとともに規範意識や礼儀を大切に、人の気持ちを考えて行動する子を育てる。	①たてわり班活動を中心とした異学年交流の充実を図る。②道徳の時間を充実させ、授業公開をする。③人権週間の取組を充実させる。④Y・Pアセスメントを活用して、より良い人間関係を構築する。
健やかな体	適切な運動の経験・安全についての理解を通して運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進と体力の向上を図る。	①大縄大会、水泳大会、なわとびタイムを実施し、全校による体力向上の取組を進める。②新橋スポーツクラブを実施し、一人ひとりの目標に合わせた体力づくりを行う。③新橋けんこう会議を開催し、健康についての活動を年間を通して継続的に取り組む。④栄養技師と連携しながら、家庭科や総合的な学習の時間などで食育に関する授業を行う。
児童指導	新橋小ルールブックでルールの徹底が図られるだけでなく、子どもたちが、よりよい学校にしていこうとする雰囲気を作る。	①新橋小ルールブックを教職員で共通理解し、学校全体で一貫した指導にあたる。②いじめアンケートやY・Pアセスメントを定期的実施し、いじめの早期発見・解決への手立てを確立する。③登校しぶりや不登校児への対応を、早期から担任だけでなくチームであたる。
特別支援教育	ユニバーサルデザインについて全校で共通理解し取り組むなど、子どもたちが過ごしやすい環境づくりをする。	①学校全体で、ユニバーサルデザインの考えに基づいた環境整備、授業づくりに取り組む。②一般級と個別支援学級の交流がスムーズに行われるよう、環境整備などに配慮する。③教育ボランティアによる取り出し指導を充実させる。
地域連携	地域行事等に積極的に参加し、職員が地域の中で顔の見える関係となり、学校の教育活動への理解が深まり、必要な協力が得られるようにする。	①幼保小連携を推進する。②夏祭りに職員もブースを出し、地域との連携を深める。③泉区民マラソンやアツテ祭りなど児童とともに参加する。④地域による授業参画(6年文化体験、5年米作り、4年りんご狩り、3年昔遊び、2年サツマイモ栽培など)を継続して行う。⑤まちとともに歩む学校懇話会で地域の意見を吸い上げ、学校運営に反映する。
いじめ防止基本方針	「いじめ防止対策委員会」を中心に、組織的・計画的に対応し、未然防止に努めるとともに、認知した場合は迅速に対応していく。	①いじめアンケートやY・Pアセスメントを定期的実施し、いじめの早期発見・解決への手立てを確立する。②いじめ問題について、教職員で共通理解を図り、職員の人権意識の向上やいじめ防止や人間関係にかかわる指導法などの研修を年間を通じて行っていく。
人材育成・組織運営	主幹教諭を中心とした3部会を柱とした組織運営をしている。また、メンターチーム校内研修の計画的な実施により、教師の力量の向上を目指している。	①主幹教諭をリーダーにした3部会を運営組織の柱とし、企画調整会議や学年主任会で情報交換、意見交換を充実させる。②メンターチームを活性化させ、授業研究や実践提案を通して、学習指導や生活指導の実践力を高める。③校内研修の計画的な実施により、指導力や危機管理対応能力など、学校に求められている教師の力量の向上を図る。